

永清朝臣筆
茶道要録

イ 2478
270

6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

南條道為事

字舟子著述

茶湯柱建

口傳 全部

待合



一腰掛、貴人所腰掛る、時は上に上リテカシコニリ居ル

一客入様ハ夏極暑ノ筈スレキ様ニ亭ノ主心ヲ付ル

事也案内アラハ間無ク其マ、入事口傳也

草木ノ水心付テ打タルヲ有衣ノ又ル、ホトト九ノ

入ルベシ入リ様遅シハ水モ乾キテ折角亭主

心ヲクタクシカイノ無クテ故也

一 迎ヒ出ルニ客次第ニ腰ノ屈メ極見合也(客ノ面見元處ハ出ル及バス)

獨客之事

一 独リ客ノ習ハ待合エ來ル下其一、御入リトテ

案内スベシ亭主待合一ニテ出テ咄ヒナトシテ

モチナスベシ格へ出來ヌトテ待合ニラカ又極ニスルガ

口傳也客ハ又少シ遅ク入ルカ客ノ習也

一 茶ウケハ亭主相伴スベシ是習也湯出テハ亭

主湯ニ先キ吞ムベシ是口傳也亭主湯ヲ

先キ吞ム此時バカリヤ常ク相伴ニ先キ吞ムハ取違エナリ

一 客待合エ來リテ少シ間ヲ有リテ案内スベシ亭

主ニ格へ緩リト致サセテ處メ也

一 湯出テハ客寛リト吞ムベシ是モ亭主ニ格ヒ

緩リト云事也其間多ク亭主ハ格ヒテ客ト

一所ニ連立テ腰掛ニ出テ煙草ニテモ吸也

手燭之事

一 手水所口ニ置カバ客クマリノ邊ニテモ持ツベシ

口ノクマリハ格入ル事ナシ

刀掛

一 刀掛ケニ貴人ノ刀置ル時相伴ノ刀ハ一所ニ

掛ケズ地ニ見合ヤテ鼻紙ヲ折シキ鑷ヲ折テ置ク

ベシ口傳也

雪隠

一 細川三舟 雪隠ニ用致サレシ事 糞紙七枚計リ
下タニ置キ 其ノ上ニ用便シ 其ノ上ニ又紙七枚計リ
置キ 立ヲキレ 砂ヲカケテヲカレシヤ

一ツ置之風炉

一 是ハ 炉ヲ任廻ヒ不申時 世上俄ニ暖カニ成リ
炉ニテハ 如何ト思フ時 炉ノ蓋ノ上ニ風炉ヲ
置キ 有是レ一ツ置キヤ 圖左ノ如シ
此時水指細キ好シ

スキ木之風炉

一 風炉ハ 其ノ風炉釜ハハガニナリ 桐ノ木ニテスキ木ヲ
間工入ルヤ此習ヒハ立テ様ニ別ナシ釜ヲ上ル時スキ木ノ
取様ナリ 右ヨリ取テ左ノ手エウツシ左ノ木モ右ニテ
此リ火ノアタリタル所ヲ合セテ下ニ置キ 習也 両手ニテ
一時ニ取ルハ拍子木折ウ振ニ見若シト字且云レシヤ

板風

一是レハ普請ノ書ニ委シク圖有リ内チハ土ヌリ上ノ口横白
一ハイニ又ル
長板

一是レハ普請ノ書ニ委シク圖有リ内チハ土ヌリ上ノ口横白
有リ寸法普請ノ書ニ出ル立極長板ノ記有リ
中置之風炉

紹興棚 別ニ一巻有リ
雲龍風炉之灰

一此風炉ノ灰圖左ノ如シ
一前ノ一文字ノ灰ニ一小板ノ口ヲ見合ス五トク右
一ハル也風炉ノ灰少シ右ノエガク也少サクスル口付也

掛物

一東山及二幅對ノ中工親世音ノ像ヲ一幅入レシ
ヨリ三幅カクヤ二幅對四幅對六幅對有リ其ノ書院カサリ
有リ

一御宸翰ノ類抄
元時ハ茶ウケ去レ時ハ新巻候下
亭主云テ好
一外題ノ有

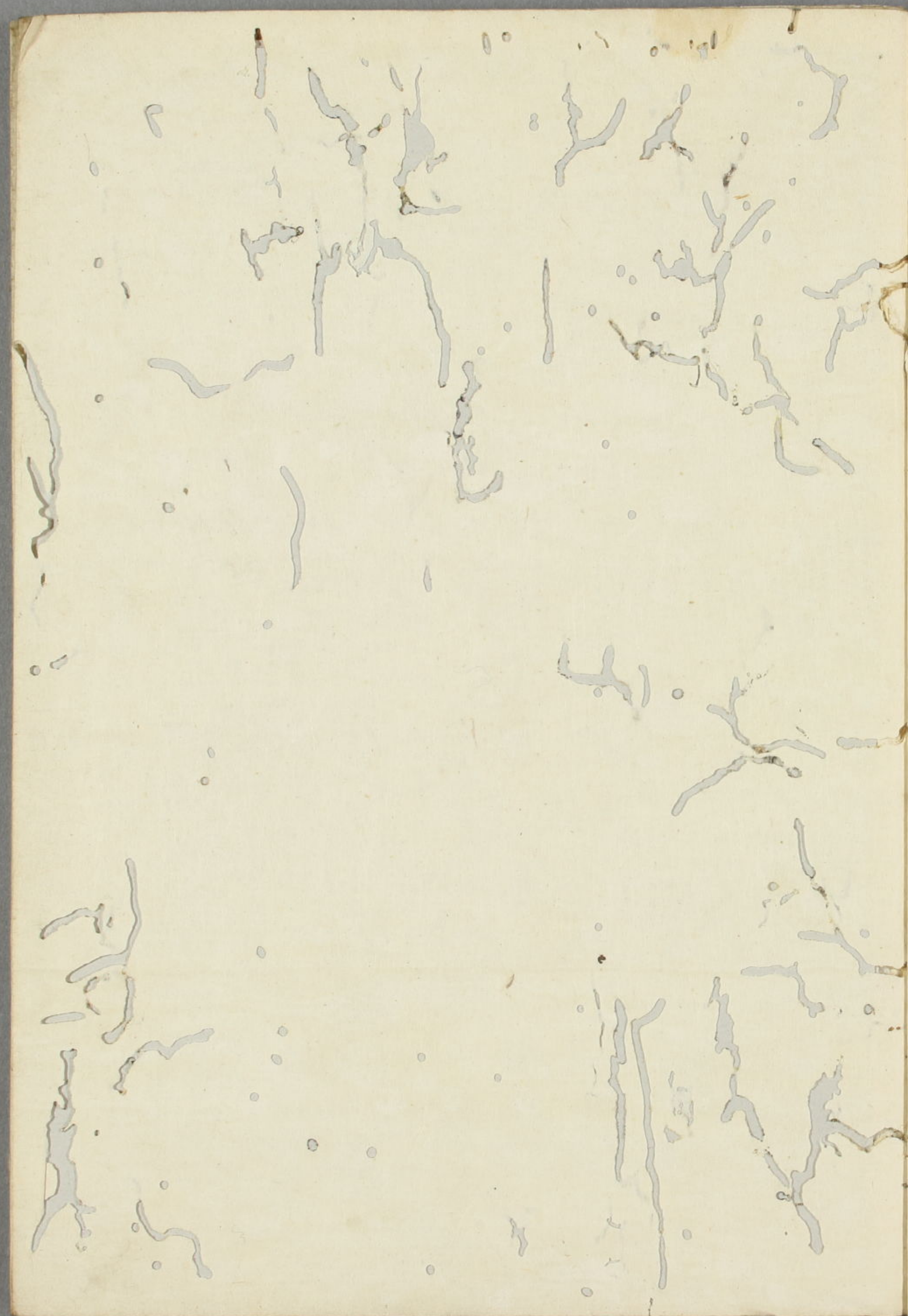
御宸翰ノ類抄

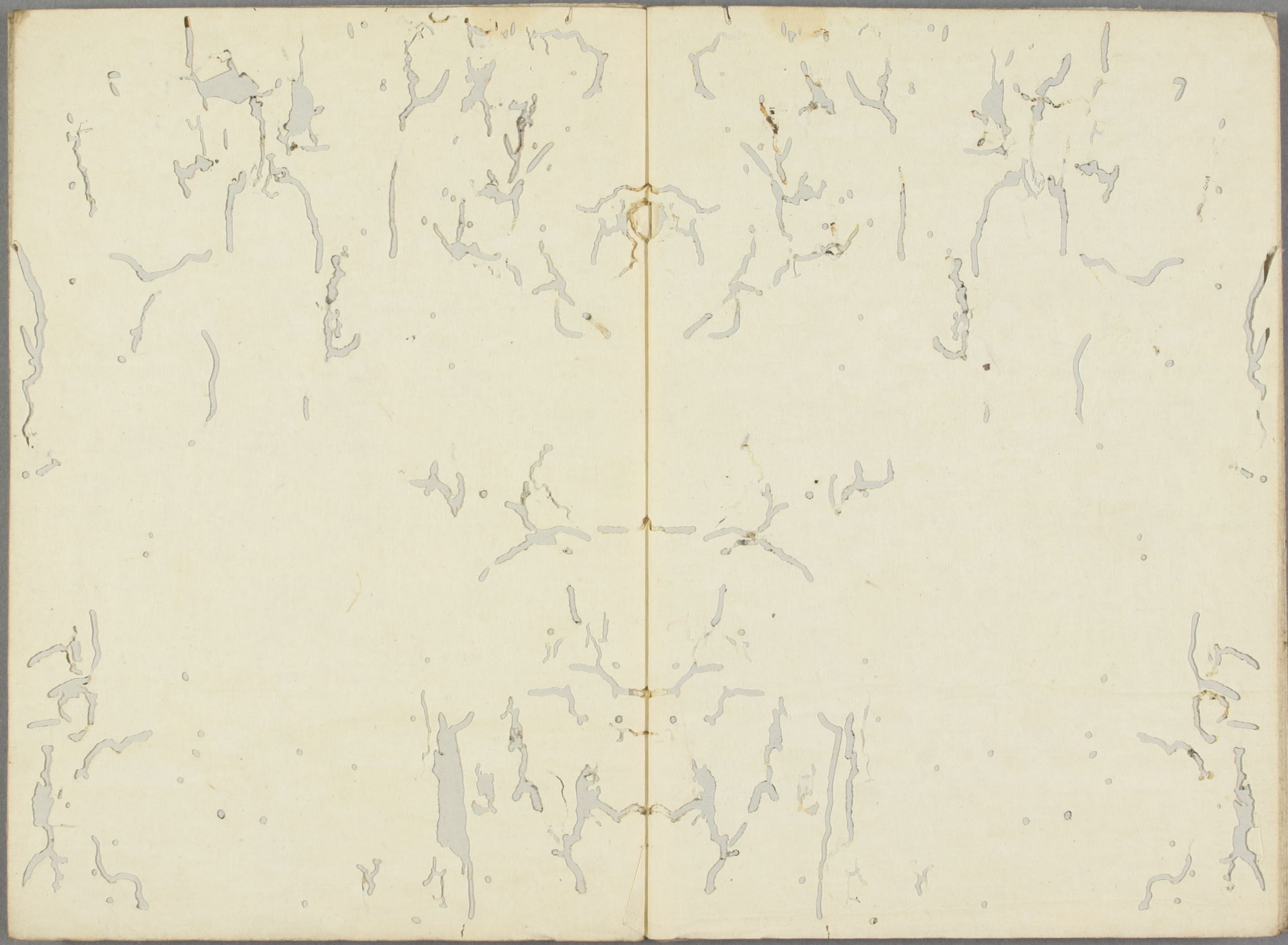
元時ハ茶ウケ去レ時ハ新巻候下

亭主云テ好

一外題ノ有

御宸翰ノ類抄





定家紙

高橋

尾張殿

藤原

紀伊殿

三浦

同

中務

近衛殿

近衛

近衛殿

近衛

近衛殿

近衛

近衛殿

近衛

近衛殿

近衛

近衛殿

小倉山

伊井抄終

赤毛とす

西井抄

大石

赤井抄

赤毛

西井抄

河島

赤井抄

赤毛

赤毛

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

赤毛

赤井抄

